

第3学年 教科（家庭科）学習指導案

- 1 主 題 「子どもの権利条約」について学ぶ
- 2 資 料 名 『新しい技術・家庭 家庭分野』（開隆堂） 単元「家庭・家庭生活」
「みんなで学ぼう！子どもの権利条約」 伊丹市教育委員会作成
- 3 人権教育のねらい
- ・ 自分たちが生きる上で欠かせない権利について知り、その大切さを考えるとともに、お互いの権利を尊重しようとする態度を育てる。
 - ・ 一人ひとりの考え方や大切にしたいことには違いがあり、多様な考え方を認め合うことの大切さに気づかせる。
- 4 人権教育の内容 人権の擁護とその活動についての学習 (2)-イ
- 5 家庭科のねらい 全ての子どもの命が守られ、安心して安全に暮らせる環境を保障する制度やしきみがあることを知る。
- 6 家庭科の内容 A 家族・家庭生活 (2) 幼児の生活と家族
イ 幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること
- 7 展 開

学習内容	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
<p>1 「子どもの権利条約」がどのような条約なのかを考える。</p> <p>○ 世界の子供たちの写真を見て、考えを発表する。</p>	<p>○ 写真の子供たちを見て想像してみよう。 「どんな生活をしているのか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住む家がない ・ 自由がない ・ 働かされて学校に行けない 	<p>○ 条約の背景として、世界の子供たちの状況を把握させたい。その際には、視聴覚教材を活用する。</p> <p>○ かわいそう自分たちは幸せだ、等の他人事で終わらないようにする。</p>
<p>2 「子どもの権利条約」の権利がどのような内容なのかを考える。</p> <p>① 「権利」の意味を確認し、抜粋した10個の「権利」について知る。</p> <p>② 自分にとって大切だと思う権利の順位を決め、ワークシートに書き理由を考える。</p> <p>③ 10位にした権利がなくなったらどのようなことが起こるか考える。</p> <p>④ 順位づけした理由、10位の権利がなくなったらどうなるかについて、グループで話し合う。</p>	<p>○ グループで1位と10位にしたものの理由を意見交換しよう。</p> <p>○ 10位に選んだ権利について、もしその権利がなくなったらどのようなことが起きるのかを考え、記入する。</p> <p>○ グループで意見交換する。</p>	<p>○ 子供の生活実態や背景を十分に把握した上で権利を選ぶ。</p> <p>○ 権利の内容に自分たちの生活や経験等を重ねて考えさせる。</p> <p>○ 他の人の考えを聞き、肯定的に理解することが大切だということを伝える。</p>
<p>3 市教育委員会配布の「みんなで学ぼう！子どもの権利条約」を用いて、他の権利についても知る。</p>	<p>○ 10個の権利は子どもの権利条約の一部で、他にも様々な面で子どもの権利が守られていることを伝える。</p>	<p>○ 最初の写真に戻り、世界では「子どもの権利」が守られていない子供たちがいることにもふれる。</p>
<p>4 まとめ話を聞き、授業の感想を書く。</p>	<p>○ 子どもの権利は、「生きていたい」「自由、幸せでいたい」という願いを叶えるために、世界中の全ての子どもたちが持っている権利であり、大切な権利である。そして、それは自分にも他人にも同じように権利が保障されていることを伝える。</p>	<p>○ 自分たち一人ひとりが権利の主体であることを理解させ、互いの権利を尊重しあうことの大切さにも気づかせたい。</p>